

**令和4年度(2022-2023)6月商工会理事委員会 議事録**

日 時: 令和5(2023年)6月21日(水) 12:00~14:00

会 場: 三水会センター会議室

出席者: 19名(うち名誉会長、名誉会員、理事委員14名、オブザーバー2名、事務局長)

欠席者: 7名(うち会長委任7名)

司 会: 東 遼佑 幹事

**1. 商工会会長連絡 (早坂 晃 会長)**

①金融政策については、FRB(The Federal Reserve Board、米連邦準備制度理事会)は、6月13~14日のFOMC(The Federal Open Market Committee、米連邦公開市場委員会)において、政策金利の据え置き(5月発表の5.0~5.25%)を全会一致で決定した。政策金利の据え置きは11回連続であった。金融環境は引き締まっている中、米地銀の破綻が相次いだ影響で金融機関の融資態度が厳しくなっており、FOMCは時間をかけて経済・物価の動向を見極める必要があると判断したとのことである。一方、声明文では『インフレリスクに極めて注意する』と強調され、2023年内に2回の追加利上げを行う可能性が示唆された。また、同じ週、欧州中央銀行のECB(European Central Bank)は0.25%の利上げを実施、中国人民銀行は複数の主要金利(7日物リバースレポ、常設貸出ファンリティ、中期貸出制度)を10か月ぶりに0.1%ずつ引き下げた。各国金融政策に違いが出てきており、これまで以上に経済や金融政策の動向の見通しが難しくなっているように感じるが、いずれも我々のビジネスにも大きな影響を及ぼすので、今後の動向を要注視である。

②先週末よりヒューストンでは猛暑による excessive heat warning が出されている。これは気温と湿度から計算される heat index といわれるいわゆる体感温度指数が華氏 113 度(摂氏 45 度)以上となると見込まれる際に出される警告である。毎年暑いヒューストンにおいてもこの暑さは極端とされており、同警告が出るのは 2016 年以来となっている。週後半にかけての雨により少し heat index は和らぐ一方、その後また同様の暑さが戻ってくるとの予報もある。身体に危険を及ぼすレベルの暑さが続いているので、十分な水分補給などの熱中症予防措置をしっかりと講じていただきたい。また、6月よりハリケーンシーズンに突入したので、しっかりと備えをしておくことが重要である。

**2. 総領事館連絡 (村林弘文 総領事)**

①昨日、総領事公邸にて全米日系人博物館(JANM)の館長をお迎えして説明会・レセプションを行い、米国における日系人の歴史や同館の活動、そしてファンドレイジングについての話を聴く機会があった。ご参加くださった理事委員の皆様には、御礼申し上げます。総領事館がこのような民間団体のファンドレイジングに協力することはないが、外務省として JANM とは長年にわたる協力関係があり、その背景となる事情を説明したい。日系人は第二次世界大戦の時に強制収容された背景もあって、子孫に日本のアイデンティティが明確に継承されていないことが多かった。そこで、アメリカでリーダーとして活躍する日系人に日本のルーツを認識してもらうことで、日米関係を深化・拡大する Key Player とするべきとの案を故ダニエル・イノウエ上院議員が日本政府へ提言した。それを受けて、外務省は該当する日系人を日本へ招聘して日本のルーツを再認識してもらうプログラムを始め、それは今も続いている。当初は私自身も東京で4年間その担当者として関わったが、アメリカ側での実施団体が JANM であり、当時の館長であったアイリーン・ヒラノ・イノウエ氏である。その後も JANM は故ヒラノ氏の働きを引き継ぎ、日本との関係強化に尽くしてくれている。このような事情で、この度は日系企業の皆様との接点となる機会を設けさせていただいた。

②6月5日から7日までワシントン DC の在米大使館から野村経済公使が当地を来訪し、総領事公邸で日系企業の方々の意見交換会を行った。その際には、理事委員会の一部の方々にご協力いただき、御礼申し上げます。野村公使は、テキサス新幹線の建設予定地の沿線を車でダラスからヒューストンまで視察した。また、先月には在米大使館の政務参事官が来訪し、アメリカの政治にも大きな影響を与えている国境の移民問題の状況を把握するためにエルパソを視察し、続いてヒューストン、

オースティンを回った。このようにテキサス州への関心が高まっているなか、今後も大統領選挙まで多ければ月一くらいのペースで DC の大使館から出張者が来ることが考えられる。その際には、日系企業の方々からお話を聴くために公邸でまた食事会を行うことがあるかもしれないので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。(齋藤 厚 領事)

### 3. 幹事報告 (東 遼佑 幹事)

#### \*会計幹事の交代について【承認事項】

沖隆士会計幹事の帰任に伴い、定款に基づいて後任者の二見真紀氏 (Deloitte & Touche LLP) が7月より新会計幹事として就任することが理事委員の過半数の賛成を以て承認された。尚、当該決議については、8月の常任委員会にて追認手続を行う予定。

### 4. テキサス州六者交流会 2023 関連報告 (尾根敬介 正会員)

本年 11 月 3 日にヒューストンで開催予定の同交流会につき、3 月に報告された企画案の進捗状況について説明があった。調整内容としては、Daikin 様の工場見学につき現地を視察のうえ受け入れ条件や留意事項の確認したこと、JAXA 様には宇宙飛行士による講演につき内諾を得て申請書を送付したこと、講演・懇親会の会場候補を現在 City Centre の 2 箇所 (Moran、Zaza) に絞って条件を確認中であること等を含む。他方、5 月 26 日には他地区の窓口担当の皆様と Zoom 会議を実施し、開催内容に関して検討状況を説明した。今後のスケジュールとしては、今週中に事前アンケートを配信し、その結果に基づき概算参加人数を把握したうえで会場を予約、8 月には最終申し込みの案内を配信する予定である。また、10 月頃には抽選会の景品収集等で皆様にもぜひご協力いただきたい。

### 5. 他団体対応・日本庭園関連報告 (杉本定省 特命理事)

#### ①ジャパンフェスティバル 2023

今年のフェスティバルにつき、日米協会が現在会計報告書をまとめている。警備等の固定経費が元々かなり高額である中であつたうえ、二日目の悪天候による収益減少により、非常時用の Rainy Day Fund を切り崩しての対応となったと報告を受けている。また、当地において他の日本をテーマにしたイベントも開催されるようになり、同フェスティバルのテーマや集客が今後の課題となってくると思われる。ジャパンフェスティバルは、ハーマンパークを会場に無料で開催される 2 つのイベントの一つであることからヒューストン市からの期待値も高く、今後は関係者でその位置づけ等につき確認していく必要があると感じる。

### 6. 委員会・部会関連事項

#### ①企画・調査委員会 (桜内政大 企画・調査委員長)

今後の講演会の予定については、以下の通りとなっている。

#### ★8月16日(水)6:00pm-8:00pm 会員勉強会兼交流会

6:00pm- 「国際ビジネスシーンでの効果的なコミュニケーション技法」(仮)

(Mr. Olivier Van Beneden, Managing Director, Japan Consulting Office)

6:45pm- 交流 ※簡単なつまみ、飲み物を用意

#### ★8月23日(水)2:00pm-3:30pm 定例講演会「ヒューストン、テキサスの暮らしを楽しむ」

三菱商事 嶋田様、Home Experience Realty Group 石井様、パソナ 藍谷様、ジェトロ 桜内

※プレゼンテーションは約1時間、その後交流会。ヒューストンの菓子などを用意

#### ★9月 講演会「バイデン政権の対外経済政策」

(日本大使館 藤澤公使)

#### ★調整中 宇宙セミナー

#### ②スポーツ委員会

\*第574回テキサス会ゴルフ「総領事杯」収支報告 (藍谷早苗 運輸・サービス・金融・貿易部会長)

5月21日(日)、Oakhurst Golf Clubにて同ゴルフコンペを開催し、87名の皆様にご参加いただいた。また、関係者の皆様には多くの賞品をご提供いただき、感謝申し上げます。会計報告については、参加費の収入合計が、\$8,830.00であったのに対し、プレー代や賞品代、備品代等を含む支出は\$8,826.17となり、収支が\$3.83の黒字という結果になった。尚、次回のテキサス会への繰り越される賞品の残りについては、事務局にて保管されている。

## 7. 事務局関連事項 (小林浩子 事務局長)

①三水会センター夏季休館期間: 2023年7月3日(月)~7月8日(土)

②会員消息 (HP「[会員専用ページ](#)」参照)

本日現在の会員数は、名誉会員数 10名、正個人会員数 818名、(正団体会員数 114社)、準会員数 48名で、総会員数は 876名となった。

③「医療ハンドブック」の配布について

JMTX(日本テキサス医学振興会)の医師が執筆、日本人会が製本する同ハンドブックにつき、会員への配布方法を協議した。その結果、当会では製本化された本の配布はせず、JMTXのリンク紹介しつつ、PDF版を商工会HP(もしくは、日本人会HP、またはJMTXのHP)からダウンロードできる許可を頂けるよう確認する方向で進めることとなった。

④次年度役員等改選関連について (東 遼佑 幹事)

次年度(2023年10月~2024年9月)の組織体制につき、本日現在、以下の内容とスケジュールで理事委員を選出することになっている。但し、前年度の9月度理事委員会にて協議された部会活動を含め、現組織体制については様々な課題があるため、時間の余裕がある理事委員のみが残り、協議を続行した。(別添の議事録補足を参照) この協議に基づき、7月の理事委員会においては、次年度組織体制案につき改めて報告する予定である。

以下は、従来の組織体制と改選スケジュール:

### <役員>

役員は、会長、第一副会長、副会長(3名)、幹事、会計幹事の計7名。立候補資格は、常任委員であることとなっている。

7/20(木) 立候補受付メール発信(全常任委員宛に事務局より発信)

7/28(金) 立候補締め切り

8/9(水) 常任委員宛に常任委員会開催通知(立候補者名は議案に掲載)

8/23(水) 常任委員会開催(選挙、新役員決定)

### <常設委員長・特命理事>

特段会員へのアナウンスはなく、今年10月に始まる次年度に向けて、9月20日(水)開催の理事委員会で「新」会長より任命していただく。

### <部会長>

今年10月に始まる次年度に向けて、各部会での互選により行われ、形式的には9月の理事委員会にて新企画調査委員長による任命となる。例年、人選が難航することから、締切と任命との間に約1ヶ月の猶予の期間を設けている。

7/21(金) 次期部会長推薦依頼メール発信(現部会長宛に事務局より発信)

8/17(木) 推薦候補締め切り

9/20(水) 9月度理事委員会開催、新企画調査委員長より任命

以上。